

編集後記

煮た大根の旨味が喉にしみる季節となってきました。私的な道楽の一環として小さな菜園にて季節の野菜類を栽培しています。土と自然の恵みと少しばかりの心遣いだけで生長した野菜の味の濃さと、日頃店先に並ぶ見てくれだけは立派な大量促成栽培の野菜類の希薄な味との対比の中に今の世の中の有りように対する疑念が映し出されてきます。

素人栽培では己の技量も省みず乏しい面積からより多くを得ようと播種密度を上げます。発芽率の悪い品種だとなおさらです。結果として地力を越えた密度で芽生えます。ここで欲の皮を突っ張らせて肥料を追加したりしてもいい結果は得られません。生育の様子を見ながら分を見極めた量まで遅滞することなく間引いてやってはじめて優良な作物がすくすくと育つのです。未練たらしく中途半端に残しておくとも自然の恵みというリソースの取り合いのあげくに共倒れになります。

さて公的な道楽の実践の場でもあり、我々研究者という種族の種の保存の営みを行う場でもある大学院のありかたに一般社会から様々な意見が投げかけられてきています。近年迎合するかのごとくに受け入れてきた変化が理に適ったものであるのか立ち止まってでも考えてみるべき時期がすでに到来していると私は思いますがいかが。

(Y. S)

[物性研究]

編集長

関本 謙 (京大・基研)

編集委員

池田 隆介 (京大・理・物理)
佐々木 豊 (京大・理・物理)
水口 毅 (京大・理・物理)
山田 耕作 (京大・理・物理)
吉村 一良 (京大・理・化学)
武末 真二 (京大・総合人間)
村瀬 雅俊 (京大・基研)
小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)
本堂 毅 (東北大・理・物理)
佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)
初貝 安弘 (東大・工・物理工学)
堀田 貴嗣 (東大・物性研)
山田 鏑二 (信州大・理・物理)
平田 文男 (分子科学研)
大野 義章 (名大・理・物理)
池田 研介 (立命館大・理工・物理)
宮下 精二 (阪大・理・宇宙地球)
松井 淳 (九大・理・物理)
好村 滋行 (九工大・情報工)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

[編集部より] 「物性研究」推奨の Latex 原稿用 テンプレートができました。ホームページの「投稿の手引」欄から、ダウンロードできます。原稿作成時にご利用下さい。

編集後記

煮た大根の旨味が喉にしみる季節となってきました。私的な道楽の一環として小さな菜園にて季節の野菜類を栽培しています。土と自然の恵みと少しばかりの心遣いだけで生長した野菜の味の濃さと、日頃店先に並ぶ見てくれだけは立派な大量促成栽培の野菜類の希薄な味との対比の中に今の世の中の有りように対する疑念が映し出されてきます。

素人栽培では己の技量も省みず乏しい面積からより多くを得ようと播種密度を上げます。発芽率の悪い品種だとなおさらです。結果として地力を越えた密度で芽生えます。ここで欲の皮を突っ張らせて肥料を追加したりしてもいい結果は得られません。生育の様子を見ながら分を見極めた量まで遅滞することなく間引いてやってはじめて優良な作物がすくすくと育つのです。未練たらしく中途半端に残しておくとは自然の恵みというリソースの取り合いのあげくに共倒れになります。

さて公的な道楽の実践の場でもあり、我々研究者という種族の種の保存の営みを行う場でもある大学院のありかたに一般社会から様々な意見が投げかけられてきています。近年迎合するかのごとくに受け入れてきた変化が理に適ったものであるのか立ち止まってでも考えてみるべき時期がすでに到来していると私は思いますがいかが。

(Y. S)

[物性研究]

編集長

関本 謙 (京大・基研)

編集委員

池田 隆介 (京大・理・物理)
佐々木 豊 (京大・理・物理)
水口 毅 (京大・理・物理)
山田 耕作 (京大・理・物理)
吉村 一良 (京大・理・化学)
武末 真二 (京大・総合人間)
村瀬 雅俊 (京大・基研)
小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)
本堂 毅 (東北大・理・物理)
佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)
初貝 安弘 (東大・工・物理工学)
堀田 貴嗣 (東大・物性研)
山田 鏑二 (信州大・理・物理)
平田 文男 (分子科学研)
大野 義章 (名大・理・物理)
池田 研介 (立命館大・理工・物理)
宮下 精二 (阪大・理・宇宙地球)
松井 淳 (九大・理・物理)
好村 滋行 (九工大・情報工)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

[編集部より] 「物性研究」推奨の Latex 原稿用 テンプレートができました。ホームページの「投稿の手引」欄から、ダウンロードできます。原稿作成時にご利用下さい。

物性研究 第71卷第3号 (平成10年12月号) 1998年12月20日発行

発行人 村瀬雅俊 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭和堂印刷所 〒606-8225 京都市百万遍交差点上ル東側
TEL (075) 721-4541~3

発行所 物性研究刊行会 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお支払い下さい。

年会費	1st Volume (4月号～9月号)	4,800円
	2nd Volume (10月号～3月号)	4,800円
		計 9,600円

お支払いは、郵便振替でお願いします。当会専用の振替用紙がありますので、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めに「退会届」を送付して下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意ください。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、必ず送本先変更届を送付して下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく 2 Volumes 以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご留意下さい。

機関会員

1. 会費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円** (1 Volume 9,600円) です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類 (請求、見積、納品書) が各何通必要かを お知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意ください。

雑誌未着の場合：発行日より 6 ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物性研究 71-3 (12月号) 目次

○講義ノート	
「第43回 物性若手夏の学校」(1998年度).....	225
○編集後記.....	548

物性研究 71-3 (12月号) 目次

○講義ノート	
「第43回 物性若手夏の学校」(1998年度).....	225
○編集後記.....	548